

落下した橋、仮橋により 通行可能。

復旧へ、急げ。



気仙大橋
(181.5m)

仮橋
(210.6m)

仮橋による復旧
国道45号 気仙大橋
(岩手県陸前高田市)

2011.7.10 交通開放

一日も早い交通確保へ、仮橋による応急復旧を展開。

太平洋沿岸を走る国道45号は、巨大津波によって各所で寸断され、橋桁が流出するなど大きなダメージを受けた。道路啓開が完了した所から応急復旧を進め、橋梁流出箇所も迂回措置や仮橋による対応が展開された。仮橋の延長210.6mとなった気仙大橋(岩手県陸前高田市)も、河川の浚渫作業後に仮橋本体の工事にかかり、わずか61日で完成。7月10日に2車線での交通確保が可能となった。

応急復旧が早かった理由には、震災直後から建設業者が作業に入ったこと、復旧対策に現地での作業方法の検討を活かし、応急組立橋の設置など技術的に工夫できたことなどがある。



被災直後の
国道45号 二十一浜橋
(宮城県気仙沼市)

2011.3.15



応急組立橋による応急復旧
国道45号 二十一浜橋
(宮城県気仙沼市)

2011.4.4 交通開放